



福井県 農業試験場

園芸研究センター

FUKUI Pref. Horticultural Research Center

園芸研究センター(本館)

〒919-1123 福井県三方郡美浜町久々子35-32-1

TEL:(0770)32-0009 FAX:(0770)32-5243

E-Mail: engei-ken@pref.fukui.lg.jp

園芸体験施設「園芸LABOの丘」

TEL:(0770)47-6162 FAX:(0770)47-6163



役割

福井県農業試験場(園芸研究センター)は、園芸産業の着実な発展を推進するため、ウメを中心とした果樹をはじめ、野菜・花きの生産に寄与する高品質安定生産技術の確立に取り組んでいます。また、産学官連携を積極的に活用し、スマート農業、独創的・先端的な研究にも力を入れています。今後も、当センターの施設見学や技術相談、また研究成果の公表などを積極的に行い、広く県民に親しまれる「開かれた試験研究機関」を目指します。

沿革

昭和13年に福井県農事試験場嶺南試験地として設立され、稲作を中心として嶺南地域の農業振興に寄与してきました。その後、時代の要請に応えつつ、園芸作物の新しい栽培技術や環境条件に適応した技術の確立、先端技術の開発・利用による園芸作物の総合的な技術体系確立の研究に取り組み現在に至っています。

- 昭和13年 6月 福井県農事試験場嶺南試験地として三方郡美浜町興道寺に設立
- 昭和36年11月 福井県農事試験場嶺南分場となり三方郡美浜町久々子に移転
- 昭和47年 4月 福井県園芸センターとして発足、
総務課・特産果樹科・野菜花き科・営農科の4課(科)を置く
- 昭和58年 5月 福井県園芸試験場となり、
総務課・果樹課・野菜課・花き課・営農環境課の5課を置く
- 平成25年 4月 福井県園芸研究センター(福井県農業試験場附置機関)
となり、1室(管理室)2研究グループ制(ウメ・果樹、野菜)となる
- 平成26年 4月 管理室が嶺南管理室となり、1室4研究グループ制(ウメ・果樹、野菜、スマート園芸、
花き(農業試験場駐在))となる
- 平成27年 5月 嶺南管理室が嶺南管理課となり、1課4研究グループ制(ウメ・果樹、野菜、スマート園芸、
花き(農業試験場駐在))となる
- 令和元年 6月 園芸交流課を新たに設置し、嶺南管理課、研究推進課、園芸交流課の3課体制となる
- 令和元年 7月 福井県園芸体験施設(園芸LABOの丘)オープン
- 令和 2年 4月 研究推進課が3研究グループ(ウメ・果樹、野菜・花き、スマート園芸)となる

組織体制と主な研究業務内容

職員数 19名(うち研究職 12名)
園芸振興・交流推進員、会計年度任用職員 12名

所 長	嶺南管理課	センターの運営・管理
	研究推進課	果樹・野菜・花きの試験研究
	ウメ・果樹研究グループ	ウメ「福太夫」に適した樹形の開発とふくい柿産地向上のための技術の開発や、直売所に広めるくだもの栽培技術の確立などに取り組んでいます。
	野菜・花き研究グループ	越前スイセンの効率的な球根養成技術の開発や異常気象に対応できる白ネギの安定生産技術の確立などに取り組んでいます。
	スマート園芸研究グループ	大規模園芸施設におけるミディトマト・キュウリの栽培技術の確立などに取り組んでいます。
	園芸交流課	「園芸LABOの丘」の運営
	研究交流グループ	園芸体験・園芸教室・園芸相談の実施や展示を通して、園芸に対する理解促進に取り組んでいます。

ウメの超省カ・スマート果樹栽培体系の確立



樹形改造およびネット収穫方法の検討



かん水による高温対策効果の検証

ふくい柿産地力向上のための技術開発



わい性台木による低樹高化の比較



ジョイント栽培による早期成園化・省力化の実現

直売所に広めるくだもの栽培技術の確立



福井県に適したキウイ品種の選定



簡易棚を利用したキウイフルーツ栽培

夏季の異常気象に対応できる白ネギ安定生産技術の確立



・灌水試験の様子

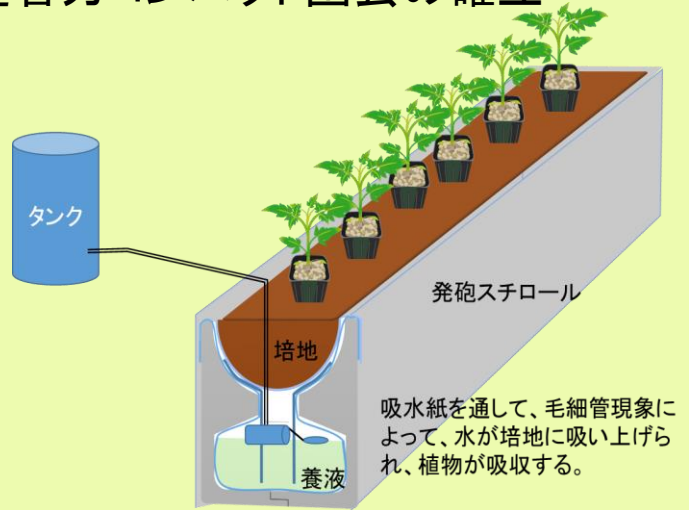


・現地試験の様子(ブームスプレイヤによる灌水)

中山間地域の未来をうるおす超省力コンパクト園芸の確立



・簡易溶液栽培システムの開発



キュウリの土壌病害虫対策としての低コスト隔離栽培技術の確立



防根透水シート埋設作業の様子

・防根透水シートを利用した隔離栽培技術の検討

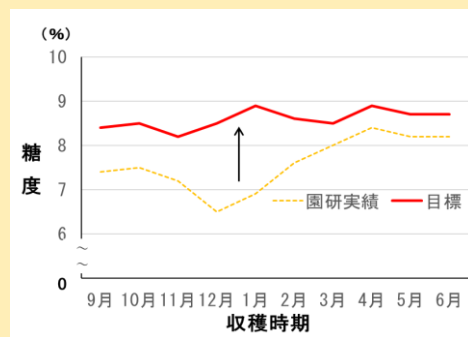
スイセンの球根養成における省力化栽培技術の確立



・ネット収穫技術の検討

スマート園芸研究グループ

一年中おいしい“越のルビー”を生産する低段密植栽培技術の開発



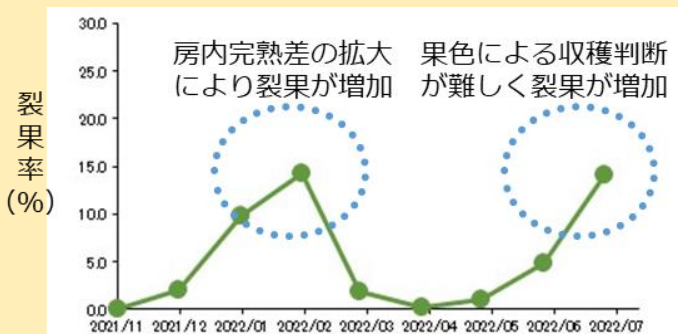
低段密植栽培による年間品質調査



○1段目から充実した花芽にするための育苗技術

○周年高品質生産のための栽培管理技術

房どりできるミニトマトの周年出荷体系の開発



○裂果を軽減する手法の検討

○栽培システムと作型の組合せ実証による新たな栽培体系の確立

○改良型NSP栽培装置の開発

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
NSP栽培 長期どり	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	R3~4 実証
新体系					●	●	●	●	●	●	●	●	R5研究

7月中旬～10月の端境期を解消 周年出荷体制を確立

福井県園芸体験施設 「園芸LABOの丘」

施設の野菜・花を通して、園芸を楽しみながら理解を深めることができます。



【体験講座】

野草園で摘み取った野菜やトマトを使ったピザづくり、ミクロの観察、こだわり野菜の栽培講習など、楽しい園芸体験ができます。

調理加工体験



科学体験



工芸体験



【園芸相談・園芸教室】

- ・花や野菜、果樹の栽培についての園芸相談を受け付けています。
- ・家庭園芸を対象とした園芸教室を月1回開催しています。



福井県園芸体験施設「園芸LABOの丘」

開館時間 9:30～17:00(7/21～8/31は18:00まで)

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)

TEL 0770-47-6162 FAX 0770-47-6163